



DIGITAL HEARTS HDGS.



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社デジタルハーツホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3676 URL <https://www.digitalhearts-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 二宮 康真
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 伊丹 英人 (TEL) 03(3373)0081
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,669	6.3	729	△46.8	792	△47.8	△436	—
2023年3月期第2四半期	17,562	30.1	1,372	0.2	1,517	6.0	945	3.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △228百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 1,589百万円(57.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△19.61	—
2023年3月期第2四半期	43.70	43.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,291	8,448	41.6
2023年3月期	19,581	9,474	45.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,024百万円 2023年3月期 8,806百万円

(注) 2023年3月期第4四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.50	—	10.50	21.00
2024年3月期	—	10.50			
2024年3月期(予想)			—	10.50	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	9.5	2,500	△16.7	2,560	△18.8	550	△31.2	24.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社 (社名) 株式会社GPC

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	23,890,800株	2023年3月期	23,890,800株
2024年3月期2Q	1,614,278株	2023年3月期	1,632,090株
2024年3月期2Q	22,262,993株	2023年3月期2Q	21,645,768株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) の4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は2023年11月10日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(固定資産に係る重要な減損損失)	11
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	2023年3月期 第2四半期 (千円)	2024年3月期 第2四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	17,562,732	18,669,500	6.3
営業利益	1,372,906	729,987	△46.8
経常利益	1,517,023	792,304	△47.8
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は四半期純損失(△)	945,812	△436,669	—

当社のエンタープライズ事業を取り巻くデジタル関連市場では、DX(デジタルトランスフォーメーション)の加速等を背景に企業におけるIT投資が活発化する一方、慢性的なIT人材不足やソフトウェアの複雑化に伴うテストノウハウの高度化等により、テスト工程をはじめとするソフトウェアの品質向上に関するアウトソースニーズが拡大しております。また、当社のエンターテインメント事業を取り巻くゲーム関連市場では、コンテンツの海外同時展開が主流となりつつあることに加え、NFTゲームをはじめ、最新技術を活用した新たなコンテンツ開発が活発化しています。

このような状況のもと、当社では現在、需要が急増するエンタープライズ事業の成長スピードの加速及び祖業であるエンターテインメント事業の安定成長フェーズから成長軌道への転換に注力しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、エンターテインメント事業が前期絶好調だった国内デバッグの反動等により減収となるも、エンタープライズ事業がM&Aの効果もあり120%以上の成長を実現したことにより、18,669,500千円(前年同四半期比6.3%増)と増収を達成いたしました。一方、利益面では、エンターテインメント事業の減収の影響や、米国で新型コロナウイルスの影響が長引いたことによるテストの新規受注遅れ等に伴う海外子会社の収益性の悪化、さらにはエンタープライズ事業の中核子会社である株式会社AGEST(以下、「AGEST」)の株式分配型スピノフ及び上場(以下、「スピノフ上場」)の準備開始に伴う費用の増加等により、営業利益は729,987千円(前年同四半期比46.8%減)、経常利益は792,304千円(前年同四半期比47.8%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、連結子会社ののれんの減損損失を特別損失として計上したこと等により、436,669千円(前年同四半期は、四半期純利益945,812千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

	2023年3月期 第2四半期 (千円)	2024年3月期 第2四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	17,562,732	18,669,500	6.3
エンタープライズ事業	7,614,484	9,429,032	23.8
エンターテインメント事業	10,020,653	9,299,376	△7.2
調整額	△72,405	△58,908	—
営業利益	1,372,906	729,987	△46.8
エンタープライズ事業	104,541	35,062	△66.5
エンターテインメント事業	2,192,801	1,618,416	△26.2
調整額	△924,435	△923,491	—

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益は営業利益ベースとなっております。

① エンタープライズ事業

当セグメントでは、主に、エンタープライズシステムの不具合を検出するシステムテスト、セキュリティテスト、ERPの導入支援等を行うQAソリューションのほか、エンジニア派遣、システムの保守・運用支援等を行うITサービス及びその他のサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、中核子会社であるAGESTを中心に、“テック”ブランドを活かした積極的なエンジニア採用活動を継続したほか、AGESTの認知度向上に向けたプロモーション活動等を推進いたしました。また、開発の最終工程におけるテストの実施だけではなく、開発の上流工程から品質を支える“シフトレフト”に対応した高付加価値型ソリューション“QA for Development”の確立に向け、コード解析やコードリスクアセスメント等のサービスの拡充に努めてまいりました。

また、海外子会社におけるガバナンス体制の強化やAGESTを中心とするグループ連携促進に向けた取り組みも進めてまいりました。具体的には、海外における事業拡大や収益性改善に向け、LOGIGEAR CORPORATIONをはじめとする海外子会社のマネジメント体制を刷新したほか、ベトナムのエンジニアリソースを日本市場向けに活用するオフショア開発やテスト等のサービス強化に向けた体制を構築いたしました。

さらに、AGESTのスピノフ上場に向け、AGEST独自の本社機能の構築や本社移転、グループ組織再編等の準備を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のエンタープライズ事業の売上高は、M&Aの効果もあり、9,429,032千円(前年同四半期比23.8%増)と増収を達成いたしました。一方、セグメント利益は、海外子会社における収益性の悪化や、グループ間における人材の再配置の影響を含めたスピノフ上場準備関連費用の増加等により、35,062千円(前年同四半期比66.5%減)となりました。

② エンターテインメント事業

当セグメントでは、主に、コンソールゲームやモバイルゲーム等の不具合を検出する国内デバッグサービスのほか、ゲームの翻訳・LQA(Linguistic Quality Assurance)、ゲーム開発支援、マーケティング支援等を行うグローバル及びその他のサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間の国内デバッグサービスでは、前期絶好調だったコンソールゲーム向けデバッグの反動があるなか、顧客企業における最適なQCD(Quality/ Cost/ Delivery)を実現する独自の品質管理メソッドであるDHQ(Digital Hearts Quality)を推進しサービスの付加価値向上に努めることで、圧倒的シェアの維持・拡大に努めてまいりました。また、物価高騰等を背景に、2023年4月よりテスターの時給引き上げを実施するなど、従業員満足度の向上及び優秀な人材の確保に努めてまいりました。

一方、グローバル及びその他のサービスでは、中国ゲーム市場の先行きが依然として不透明な部分が残るなか、グループ連携を強化することで、ゲームの翻訳・LQA等の新規案件を着実に獲得いたしました。さらに、スペインのゲームローカライゼーション企業であるLocalsoft, S.L.と戦略的業務提携契約を締結し、欧州や中東を含むグローバル市場でのサービスを強化したほか、AI自動翻訳に強みを持つ株式会社ロゼッタとエンターテインメントコンテンツ向けAI翻訳エンジンの共同開発を開始するなど、新規市場や新領域における事業拡大に向けた取り組みを推進いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のエンターテインメント事業の売上高は、前期絶好調だった国内デバッグの反動減の影響が大きく、9,299,376千円(前年同四半期比7.2%減)、セグメント利益は、1,618,416千円(前年同四半期比26.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は13,072,810千円となり、前連結会計年度末における流動資産12,528,879千円に対し、543,931千円の増加(前期比4.3%増)となりました。

これは、主として現金及び預金が540,455千円増加したこと等によるものであります。

固定資産の残高は6,218,243千円となり、前連結会計年度末における固定資産7,052,756千円に対し、834,512千円の減少(前期比11.8%減)となりました。

これは、主としてのれんが1,045,065千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債の残高は10,644,208千円となり、前連結会計年度末における流動負債9,930,990千円に対し、713,218千円の増加(前期比7.2%増)となりました。

これは、主として短期借入金が500,000千円増加、及び未払費用が299,179千円増加したこと等によるものであります。

固定負債の残高は198,136千円となり、前連結会計年度末における固定負債176,124千円に対し、22,011千円の増加(前期比12.5%増)となりました。

(純資産)

純資産の残高は8,448,709千円となり、前連結会計年度末における純資産9,474,520千円に対し、1,025,810千円の減少(前期比10.8%減)となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純損失436,669千円、配当による剰余金の減少233,716千円、及び非支配株主との取引により資本剰余金が327,465千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、6,997,259千円となり、前第2四半期連結累計期間末における資金6,850,035千円に対し、147,223千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,156,308千円の収入(前年同四半期は1,430,261千円の収入)となりました。

これは、主として税金等調整前当期純損失252,841千円、法人税等の支払額437,461千円等の資金減少項目に対し、減損損失1,030,261千円、減価償却費259,957千円、のれん償却額289,837千円等の資金増加項目が上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金592,406千円の支出(前年同四半期は1,496,469千円の支出)となりました。

これは、主として有形固定資産の取得による支出307,631千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金200,382千円の支出(前年同四半期は1,488,444千円の収入)となりました。

これは、主として短期借入金による収入500,000千円、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出443,855千円、配当金の支払額233,268千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月11日付けで「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては本日2023年11月9日公表の「特別損失(連結・個別)の計上及び2024年3月期 通期連結業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,456,803	6,997,259
受取手形、売掛金及び契約資産	5,377,205	5,414,107
有価証券	39,810	43,497
棚卸資産	25,125	28,275
未収還付法人税等	29,041	8,325
その他	691,524	684,779
貸倒引当金	△90,632	△103,433
流動資産合計	12,528,879	13,072,810
固定資産		
有形固定資産	1,169,633	1,335,184
無形固定資産		
のれん	3,468,425	2,423,359
その他	720,294	598,628
無形固定資産合計	4,188,720	3,021,988
投資その他の資産		
投資有価証券	494,517	429,515
その他	1,199,884	1,431,555
投資その他の資産合計	1,694,401	1,861,070
固定資産合計	7,052,756	6,218,243
資産合計	19,581,635	19,291,054
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,106,750	5,606,750
未払費用	1,165,158	1,464,338
未払法人税等	677,031	506,646
賞与引当金	136,348	133,190
その他	2,845,701	2,933,283
流動負債合計	9,930,990	10,644,208
固定負債		
退職給付に係る負債	7,764	6,562
その他	168,360	191,574
固定負債合計	176,124	198,136
負債合計	10,107,115	10,842,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	393,678	70,445
利益剰余金	9,427,957	8,757,571
自己株式	△1,838,397	△1,818,333
株主資本合計	8,283,925	7,310,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△86,528	△91,924
為替換算調整勘定	609,357	805,591
その他の包括利益累計額合計	522,828	713,667
新株予約権	6,345	—
非支配株主持分	661,421	424,672
純資産合計	9,474,520	8,448,709
負債純資産合計	19,581,635	19,291,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,562,732	18,669,500
売上原価	12,376,911	13,868,735
売上総利益	5,185,820	4,800,764
販売費及び一般管理費	3,812,913	4,070,777
営業利益	1,372,906	729,987
営業外収益		
受取利息	2,390	8,417
為替差益	138,859	50,765
助成金収入	4,434	6,193
その他	10,639	6,148
営業外収益合計	156,324	71,523
営業外費用		
支払利息	2,583	6,304
支払手数料	7,379	—
その他	2,243	2,901
営業外費用合計	12,207	9,206
経常利益	1,517,023	792,304
特別損失		
固定資産除却損	—	3,567
減損損失	—	1,030,261
子会社本社移転費用	1,130	—
事務所移転費用	3,520	—
特別退職金	2,001	—
その他	—	11,317
特別損失合計	6,652	1,045,146
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,510,371	△252,841
法人税、住民税及び事業税	397,771	313,891
法人税等調整額	104,701	△125,740
法人税等合計	502,472	188,150
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,007,898	△440,992
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	62,086	△4,323
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	945,812	△436,669

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,007,898	△440,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,688	△5,395
為替換算調整勘定	648,575	217,863
その他の包括利益合計	581,886	212,467
四半期包括利益	1,589,785	△228,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,492,068	△245,830
非支配株主に係る四半期包括利益	97,716	17,305

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,510,371	△252,841
減価償却費	206,344	259,957
減損損失	—	1,030,261
のれん償却額	340,429	289,837
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△161	5,647
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,738	△11,155
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,515	△5,760
受取利息及び受取配当金	△2,390	△8,417
事務所移転費用	3,520	—
子会社本社移転費用	1,130	—
株式報酬費用	11,721	11,196
支払利息	2,583	6,304
為替差損益(△は益)	△138,859	△50,765
固定資産除却損	—	3,567
売上債権の増減額(△は増加)	△129,383	202,200
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,900	△2,988
未払金の増減額(△は減少)	6,418	△212,782
助成金収入	—	△6,193
未払費用の増減額(△は減少)	△88,391	146,495
未払消費税等の増減額(△は減少)	△96,671	△51,096
その他の流動資産の増減額(△は増加)	109,495	△36,377
その他の流動負債の増減額(△は減少)	88,933	220,223
その他の固定資産の増減額(△は増加)	9,946	—
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	△2,756
その他	3,153	△1,806
小計	1,843,512	1,532,752
利息及び配当金の受取額	696	11,703
利息の支払額	△6,633	△9,331
法人税等の支払額	△449,776	△437,461
法人税等の還付額	47,112	29,041
事務所移転費用の支払額	△3,520	—
本社移転費用の支払額	△1,130	—
助成金の受取額	—	29,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,430,261	1,156,308

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	35,000	—
有形固定資産の取得による支出	△513,579	△307,631
有形固定資産の売却による収入	—	6
無形固定資産の取得による支出	△179,911	△108,476
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△102,796
子会社株式の条件付取得対価の支払額	—	△18,370
事業譲受による支出	△371,390	△28,198
投資有価証券の取得による支出	△446,722	—
敷金及び保証金の差入による支出	△33,658	△57,570
敷金及び保証金の回収による収入	3,792	1,630
短期貸付金の増減額 (△は増加)	10,000	19,000
長期貸付金の回収による収入	—	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,496,469	△592,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,700,000	500,000
配当金の支払額	△161,835	△233,268
長期借入金の返済による支出	△184,220	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△80,906	△443,855
非支配株主への配当金の支払額	△20,034	△16,913
自己株式の取得による支出	△50	—
自己株式の処分による収入	224,256	—
新株予約権の発行による収入	11,468	—
自己新株予約権の取得による支出	—	△6,345
リース債務の返済による支出	△232	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,488,444	△200,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	254,052	176,936
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,676,288	540,455
現金及び現金同等物の期首残高	5,173,746	6,456,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,850,035	6,997,259

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結累計期間において、連結子会社及び連結孫会社の株式を取得したことにより、資本剰余金が327,465千円減少しております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

エンタープライズ事業において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,030,261千円であります。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年1月17日に行われた当社の連結子会社であるLOGIGEAR CORPORATIONとDEVELOPING WORLD SYSTEMS LIMITEDとの企業結合について、2022年3月期において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額は577,491千円から163,123千円減少し、414,367千円になっております。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が10,089千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ10,089千円減少しており、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ4,280千円減少しております。

(取得による企業結合)

当社は、2023年3月17日開催の取締役会決議に基づき、株式会社GPCの発行済株式の全てを取得して子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

- (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容
被取得企業の名称 株式会社GPC
事業の内容 SAP/ERP導入支援、オープン系システム開発、受託開発
- (2) 企業結合を行った主な理由
SAPをはじめとするERP領域における事業基盤強化のため
- (3) 企業結合日
2023年4月3日
- (4) 企業結合の法的形式
株式取得
- (5) 結合後企業の名称
名称に変更はありません。
- (6) 取得する議決権比率
100%
- (7) 取得企業を決定するに至った主な証拠
当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2023年4月3日～2023年9月30日

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金及び預金）	206,425千円
取得原価	206,425千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 5,300千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

のれん及び負ののれんは発生しておりません。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	332,455千円
固定資産	4,133千円
資産合計	336,589千円
流動負債	130,163千円
負債合計	130,163千円

7. 企業結合契約に規定される条件付き取得対価の内容及び当連結会計年度以降の会計処理方針

- (1) 条件付取得対価の内容
クロージング後36か月間、業績等の達成水準に応じて計算することになっております。
- (2) 当連結会計年度以降の会計処理方針
条件付取得対価の支払いによるのれんの増加分については、事業の取得の時期に支払ったものとみなして取得対価を修正し、のれんの金額及びのれんの償却額を修正することとしております。

(共通支配下の取引等)

子会社株式の追加取得

当社は、2023年3月17日開催の取締役会において、連結子会社であるLOGIGEAR CORPORATIONの株式を追加取得し、完全子会社化しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 LOGIGEAR CORPORATION

事業の内容 システムテスト等

(2) 企業結合日

2023年4月11日(株式取得日)

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) その他取引の概要に関する事項

株式取得直前に所有する議決権比率 85.5%

新規取得する議決権比率 14.5%

取得後の議決権比率 100.0%

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として会計処理を実施しております。

3. 追加取得する子会社株式の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	追加取得に伴い支出する現金	323,104千円
取得原価		323,104千円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少した資本剰余金の金額

194,816千円